

経済産業省：資源有効利用促進法に基づく判断基準省令・改正（平成28年4月1日）

カレット利用率のさらなる向上が求められています。

何度でも「びんtoびん」!

ガラスびんは、品質を保ちながら
何度でもびんからびんへ生まれ変わります。



ガラスびんの回収率アップにご協力ください!

びんからびんへのリサイクルシステムが
確立されているにもかかわらず、
現在、全体の約30%のびんが埋め立てなどに回っており、
ガラスびんの原料が不足している状況です。
ガラスびんの回収率を上げていくために、
消費者の皆様をはじめ、市区町村、回収事業者や
製造事業者等が一体となって取り組む必要があり、
皆様のご理解とご協力をお願い致します!



■お問い合わせ先

ガラスびんのリサイクルについて

(公財)日本容器包装リサイクル協会

TEL 03-5532-8592 FAX 03-5532-8515 URL <http://www.jcpra.or.jp>

ガラスびんの生産について

日本ガラスびん協会

TEL 03-6279-2390 FAX 03-5389-5868 URL <http://glassbottle.org>

ガラスびんの3Rについて

ガラスびん3R促進協議会

TEL 03-6279-2577 FAX 03-3360-0377 URL <http://www.glass-3r.jp>

カレット(ガラスびん原料)の生産について

日本びんカレットリサイクル協会

TEL 0297-64-2101 FAX 0297-64-2120 URL <http://nikkare.com>

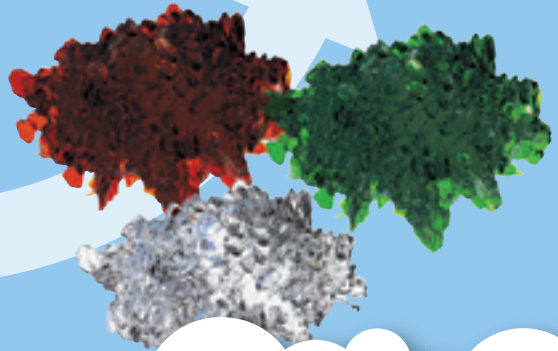
びんからびんへリサイクル!



空きびん



びん入り商品



カレット(びんの原料)

1

キャップを取る

キャップが付いたままだと、リサイクルのじゃまになります。

※びんの口に付いている中栓は、無理に取らないで、そのまま出してください。



2

中をサッとゆすぐ

中身が残っていると不衛生。ゆすぐと、リサイクルしやすくなります。

※ラベルは、剥がさなくても結構です。



3

空きびん以外のものを混ぜない

排出時に空きびん以外のものが混ざると、リサイクルに大きな支障をきたしたり、新しく作るガラスびんの強度や品質に、大きく影響します。



お住まいの地域の分別収集ルールをよくご確認ください!